



平成 19年 3月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結） 平成 18年 7月 28日

上場会社名 レンゴー株式会社 上場取引所 東大
 コード番号 3941 本社所在都道府県 大阪府
 (URL http://www.rengo.co.jp/) TEL (06) 6223 - 2371
 代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 大坪 清
 問合せ先責任者 役職名 取締役経理部長 氏名 橋本 研

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 有
 (内容) 棚卸資産等について実地棚卸を省略し、継続記録法を適用しました。
 ②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 無
 ③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 有
 (内容) 連結 (新規) 4 (除外) 2
 持分法 (新規) - (除外) -
 連結子会社数 36 社 持分法適用非連結子会社数 - 社 持分法適用関連会社数 14 社

2. 平成 19年 3月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 18年 4月 1日 ~ 平成 18年 6月 30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (注) 記載金額については、百万円未満を切り捨てております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年 3月期第1四半期	102,642	1.2	5,202 △	18.0	5,230 △	19.1	2,598 △	15.0
18年 3月期第1四半期	101,396	1.9	6,347	6.2	6,465	5.6	3,055 △	28.6
(参考) 18年 3月期	402,168	2.8	21,701	2.1	21,897	5.1	13,032	19.4

	1株当たり四半期 （当期）純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
19年 3月期第1四半期	10.86	9.75
18年 3月期第1四半期	12.84	11.00
(参考) 18年 3月期	54.63	47.72

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期（対前期）増減率を示しております。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年 3月期第1四半期	452,559	139,403	29.7	561.10
18年 3月期第1四半期	430,180	115,110	26.8	483.91
(参考) 18年 3月期	447,390	134,612	30.1	562.29

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年 3月期第1四半期	89	△ 8,251	7,682	7,011
18年 3月期第1四半期	1,712	△ 5,561	3,224	7,096
(参考) 18年 3月期	31,334	△ 19,476	△ 12,951	6,775

3. 平成 19年 3月期の連結業績予想（平成 18年 4月 1日 ~ 平成 19年 3月 31日）

	予想売上高	予想営業利益	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
中間期	210,000	11,300	11,300	6,000
通期	420,000	23,500	23,500	13,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 54円28銭

当第 1 四半期の経営成績は、概ね当初の見込み通りに推移しているため、平成18年5月16日に公表いたしました中間期および通期の業績予想についての見直しは行っておりません。

※上記の予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

財務・業績の概況に関する定性的情報

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

当第1四半期の連結業績につきましては、原燃料価格の上昇を受け製品価格への転化を進めておりますが、コストアップが先行していることもあり、売上高は1.2%の増収ながら、営業利益は18.0%の減益となりました。しかしながら、概ね当初の予想に沿った形で進捗しており、売上高102,642百万円、営業利益5,202百万円、経常利益5,230百万円、四半期純利益2,598百万円となりました。

業績の部門別状況

[板紙・紙加工関連事業]

板紙部門および段ボール部門につきましては、原燃料価格の上昇に伴い、これらのコスト増を反映した新しい価格体系（新価格体系）への移行を進めております。板紙につきましては4月初より新価格がほぼ定着し、段ボール製品につきましてもユーザーと個別交渉を進めている段階であります。数量面では、日照不足や天候不順の影響もありましたが、概ね横ばいで推移し、売上高はほぼ前年同期並みとなったものの、残念ながら減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は83,589百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益は4,233百万円（前年同期比20.9%減）となりました。

[軟包装関連事業]

前期に引き続き、原油高騰に伴い樹脂フィルム等の原料価格が大幅に上昇いたしました。製品価格修正および積極的な営業活動を行い、また、当セグメントに属する連結子会社が1社増加したこともあり、増収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は12,354百万円（前年同期比12.1%増）、営業利益は717百万円（前年同期比17.2%増）となりました。

[その他の事業]

主に紙器機械事業におきまして、売上計上の一部が当初計画よりずれたこともあり、当セグメントの売上高は6,698百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益187百万円（前年同期比41.9%減）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

当第1四半期末の総資産は452,559百万円となり、前期末に比べ5,169百万円増加いたしました。純資産は139,403百万円ですが、当期より、少数株主持分を含んだ金額となっております。

主な増減といたしましては、季節要因により売上債権が4,742百万円増加したものの、株式市況の下落により投資有価証券が2,607百万円減少しました。また、負債の部においては、仕入債務が3,984百万円増、長短の借入金が増加した8,907百万円となりました。純資産の部は、少数株主持分を除けば、ほぼ横這いとなりました。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期の営業活動による資金の増加額は、税金等調整前四半期純利益が5,102百万円でありましたが、季節要因により売上債権・棚卸資産が増加したこと等により、89百万円となりました。

投資活動による資金の減少額は、有形固定資産の取得等により、8,251百万円となりました。

財務活動による資金の増加額は、運転資金需要に応じて借入金が増加したこと等により、7,682百万円となりました。

これらに加えて、連結範囲変更による723百万円の増加等があり、現金及び現金同等物の当四半期末残高は7,011百万円となりました。

第1四半期 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当四半期 平成18年6月30日		前連結会計年度 平成18年3月31日		増減金額	前年同四半期 平成17年6月30日	
	金額	構成比 %	金額	構成比 %		金額	構成比 %
(資産の部)							
流動資産	(142,994)	(31.6)	(136,098)	(30.4)	(6,896)	(139,740)	(32.5)
現金預金	7,668		7,503		165	8,194	
受取手形および売掛金	106,142		101,400		4,742	104,323	
有価証券	3		19		△16	50	
棚卸資産	25,415		22,578		2,837	23,369	
繰延税金資産	2,230		3,202		△972	2,111	
その他	3,105		2,880		225	2,939	
貸倒引当金	△1,569		△1,486		△83	△1,247	
固定資産	(309,565)	(68.4)	(311,291)	(69.6)	(△1,726)	(290,439)	(67.5)
有形固定資産	[228,602]	[50.5]	[227,095]	[50.8]	[1,507]	[226,849]	[52.7]
建物および構築物	53,686		54,153		△467	54,163	
機械装置および運搬具	73,888		75,049		△1,161	75,362	
工具器具備品	3,924		3,941		△17	3,764	
土地	91,291		90,992		299	91,843	
建設仮勘定	5,810		2,959		2,851	1,715	
無形固定資産	[6,540]	[1.5]	[6,414]	[1.4]	[126]	[6,271]	[1.5]
連結調整勘定	-		2,385		△2,385	2,570	
のれん	2,321		-		2,321	-	
その他	4,219		4,029		190	3,701	
投資その他の資産	[74,422]	[16.4]	[77,781]	[17.4]	[△3,359]	[57,319]	[13.3]
投資有価証券	67,544		70,151		△2,607	49,820	
繰延税金資産	1,209		1,211		△2	1,421	
その他	7,413		8,373		△960	7,921	
貸倒引当金	△1,746		△1,955		209	△1,843	
資産合計	452,559	100.0	447,390	100.0	5,169	430,180	100.0

科 目	当四半期 平成18年6月30日		前連結会計年度 平成18年3月31日		増減金額	前年同四半期 平成17年6月30日	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
(負債の部)		%		%			%
流 動 負 債	(194,873)	(43.1)	(186,971)	(41.8)	(7,902)	(181,426)	(42.2)
支払手形および買掛金	62,082		58,098		3,984	56,523	
短 期 借 入 金	88,005		78,699		9,306	81,054	
一年以内償還社債	100		100		0	10,000	
一年以内償還転換社債	12,795		13,071		△276	-	
未 払 費 用	14,854		15,789		△935	14,313	
未 払 法 人 税 等	1,292		5,192		△3,900	1,982	
そ の 他	15,743		16,018		△275	17,552	
固 定 負 債	(118,283)	(26.1)	(120,746)	(27.0)	(△2,463)	(128,743)	(29.9)
社 債	20,000		20,000		0	20,100	
転 換 社 債	-		-		0	18,980	
長 期 借 入 金	64,052		64,451		△399	60,790	
繰 延 税 金 負 債	11,368		12,860		△1,492	3,949	
退 職 給 付 引 当 金	18,148		18,676		△528	20,520	
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	2,043		2,074		△31	1,854	
そ の 他	2,669		2,682		△13	2,548	
負 債 合 計	313,156	69.2	307,717	68.8	5,439	310,170	72.1
少 数 株 主 持 分	-	-	5,060	1.1	△5,060	4,898	1.1
(資本の部)							
資 本 金	(-)	-	(25,342)	(5.7)	(△25,342)	(25,242)	(5.9)
資 本 剰 余 金	(-)	-	(21,747)	(4.9)	(△21,747)	(21,653)	(5.0)
利 益 剰 余 金	(-)	-	(70,400)	(15.7)	(△70,400)	(61,539)	(14.3)
その他有価証券評価差額金	(-)	-	(19,348)	(4.3)	(△19,348)	(9,650)	(2.2)
為替換算調整勘定	(-)	-	(△681)	(△0.2)	(681)	(△1,904)	(△0.4)
自 己 株 式	(-)	-	(△1,545)	(△0.3)	(1,545)	(△1,071)	(△0.2)
資 本 合 計	-	-	134,612	30.1	△134,612	115,110	26.8
負債、少数株主持分及び資本合計	-	-	447,390	100.0	△447,390	430,180	100.0
(純資産の部)							
株 主 資 本	(117,969)	(26.1)	(-)	-	(117,969)	(-)	-
資 本 金	25,342	5.6	-	-	25,342	-	-
資 本 剰 余 金	21,747	4.8	-	-	21,747	-	-
利 益 剰 余 金	72,180	16.0	-	-	72,180	-	-
自 己 株 式	△1,301	△0.3	-	-	△1,301	-	-
評 価 ・ 換 算 差 額 等	(16,408)	(3.6)	(-)	-	(16,408)	(-)	-
その他有価証券評価差額金	16,864	3.7	-	-	16,864	-	-
為替換算調整勘定	△455	△0.1	-	-	△455	-	-
少 数 株 主 持 分	(5,025)	(1.1)	(-)	-	(5,025)	(-)	-
純 資 産 合 計	139,403	30.8	-	-	139,403	-	-
負債・純資産合計	452,559	100.0	-	-	452,559	-	-

(注)

有形固定資産償却累計額	352,124 百万円	348,302 百万円	342,989 百万円
受取手形割引高	300 百万円	219 百万円	570 百万円
受取手形裏書譲渡高	246 百万円	861 百万円	283 百万円
保 証 債 務	676 百万円	866 百万円	1,413 百万円
債務履行引受契約に係る偶発債務			
第5回無担保普通社債	5,000 百万円	5,000 百万円	5,000 百万円
自 己 株 式 数	2,437,582 株	2,920,665 株	3,665,880 株

第1四半期 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 自 平成18年 4月 1日 至 平成18年 6月30日		前年同四半期 自 平成17年 4月 1日 至 平成17年 6月30日		増減金額	前連結会計年度 自 平成17年 4月 1日 至 平成18年 3月31日	
	金額	百分比	金額	百分比		金額	百分比
売上高	102,642	100.0	101,396	100.0	1,246	402,168	100.0
売上原価	84,577	82.4	82,390	81.3	2,187	331,166	82.3
売上総利益	18,065	17.6	19,006	18.7	△941	71,001	17.7
販売費および一般管理費	12,862	12.5	12,659	12.4	203	49,300	12.3
営業利益	5,202	5.1	6,347	6.3	△1,145	21,701	5.4
営業外収益	(1,049)	(1.0)	(1,064)	(1.0)	(△15)	(4,441)	(1.1)
受取利息および配当金	430		403		27	1,118	
持分法による投資利益	160		95		65	683	
その他	458		565		△107	2,639	
営業外費用	(1,021)	(1.0)	(946)	(0.9)	(75)	(4,244)	(1.1)
支払利息	434		438		△4	1,754	
その他	587		508		79	2,489	
経常利益	5,230	5.1	6,465	6.4	△1,235	21,897	5.4
特別利益	153	0.2	54	0.1	99	7,619	1.9
特別損失	281	0.3	883	0.9	△602	5,804	1.4
税金等調整前四半期(当期)純利益	5,102	5.0	5,636	5.6	△534	23,712	5.9
法人税、住民税および事業税	1,303	1.3	1,992	2.0	△689	8,753	2.2
法人税等調整額	1,180	1.2	571	0.6	609	1,956	0.5
少数株主利益(△) 又は少数株主損失	△19	△0.0	△16	△0.0	△3	30	0.0
四半期(当期)純利益	2,598	2.5	3,055	3.0	△457	13,032	3.2

(注) 特別利益の主なもの

固定資産売却益	36 百万円	23 百万円	6,994 百万円
特別損失の主なもの			
工場リニューアル費用	125 百万円	-	569 百万円
固定資産除却売却損	48 百万円	58 百万円	1,090 百万円
固定資産減損損失	-	592 百万円	592 百万円
固定資産圧縮損	-	-	807 百万円
事業所移転費用	-	-	640 百万円
貸倒引当金繰入額	-	-	589 百万円

第1四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期	前年同四半期	前連結会計年度
	自平成18年4月 1日 至平成18年6月30日	自平成17年4月 1日 至平成17年6月30日	自平成17年4月 1日 至平成18年3月31日
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税金等調整前四半期（当期）純利益	5,102	5,636	23,712
2. 減価償却費	4,844	4,886	20,821
3. 固定資産減損損失	-	592	592
4. 連結調整勘定等償却額	52	56	461
5. 退職給付引当金の増減額	△551	△743	△2,476
6. 役員退職慰労引当金の増減額	△39	△116	104
7. 受取利息及び受取配当金	△430	△403	△1,118
8. 支払利息	434	438	1,754
9. 持分法による投資損益	△160	△95	△683
10. 投資有価証券売却損益	△48	0	△319
11. 投資有価証券評価損	1	0	-
12. 有形固定資産売却損益	△19	△15	△6,948
13. 有形固定資産除却損	83	120	2,023
14. 売上債権の増減額	△4,223	△4,347	△1,166
15. 棚卸資産の増減額	△2,487	△1,117	△114
16. 仕入債務の増減額	2,919	1,676	3,054
17. その他	△417	△173	852
小計	5,058	6,394	40,549
18. 利息及び配当金の受取額	710	753	1,475
19. 利息の支払額	△334	△300	△1,715
20. 法人税等の支払額	△5,345	△5,135	△8,974
営業活動によるキャッシュ・フロー	89	1,712	31,334
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 有形固定資産の取得による支出	△6,453	△5,923	△23,051
2. 有形固定資産の売却による収入	119	129	7,353
3. 無形固定資産の取得による支出	△327	△172	△833
4. 投資有価証券の取得による支出	△1,789	△64	△4,193
5. 投資有価証券の売却・償還による収入	67	3	761
6. 短期貸付金の増減額	△8	568	698
7. 貸付による支出	△13	△141	△643
8. 貸付金の回収による収入	9	20	27
9. その他	143	17	404
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,251	△5,561	△19,476
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 短期借入金の増減額	9,429	5,474	5,154
2. 長期借入による収入	2,483	2,400	16,850
3. 長期借入金の返済による支出	△2,967	△3,653	△16,712
4. 社債の償還による支出	-	-	△10,000
5. 自己株式の取得による支出	△40	△15	△6,286
6. 配当金の支払額	△1,195	△951	△1,883
7. その他	△26	△29	△73
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,682	3,224	△12,951
IV 現金及び現金同等物にかかる換算差額	△8	29	175
V 現金及び現金同等物の増減額	△488	△595	△916
VI 現金及び現金同等物の期首残高	6,775	7,556	7,556
VII 新規連結による現金及び現金同等物の増加額	723	135	135
VIII 現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	7,011	7,096	6,775

(セグメント情報)

1. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期 (自平成18年4月1日至平成18年6月30日)

(単位:百万円)

	板紙・紙加工関連事業	軟包装関連事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
I. 売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	83,589	12,354	6,698	102,642	-	102,642
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	11	0	5,693	5,705	(5,705)	-
計	83,601	12,355	12,392	108,348	(5,705)	102,642
営業費用	79,367	11,638	12,204	103,209	(5,769)	97,439
営業利益	4,233	717	187	5,138	63	5,202

前年同四半期 (自平成17年4月1日至平成17年6月30日)

(単位:百万円)

	板紙・紙加工関連事業	軟包装関連事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
I. 売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	83,681	11,022	6,692	101,396	-	101,396
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	25	0	5,502	5,528	(5,528)	-
計	83,707	11,022	12,195	106,925	(5,528)	101,396
営業費用	78,355	10,410	11,872	100,637	(5,588)	95,049
営業利益	5,352	612	322	6,287	59	6,347

前連結会計年度 (自平成17年4月1日至平成18年3月31日)

(単位:百万円)

	板紙・紙加工関連事業	軟包装関連事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
I. 売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	330,978	42,695	28,493	402,168	-	402,168
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	51	1	22,773	22,826	(22,826)	-
計	331,029	42,697	51,267	424,994	(22,826)	402,168
営業費用	312,606	40,704	50,109	403,420	(22,953)	380,467
営業利益	18,423	1,993	1,157	21,574	126	21,701

(注) 1. 事業の区分は製品の種類、性質に基づく市場、販売方法の区分によっております。

2. 各事業の主な製品

- ・板紙・紙加工関連事業 板紙、段ボール、段ボール箱
- ・軟包装関連事業 軟包装、セロファン
- ・その他の事業 紙器機械、小型印刷機、新聞用紙、化成品、不織布、運輸、保険代理、リース、不動産、業務請負

2. 所在地別セグメント情報

全セグメントの売上高に占める「本国」の割合がいずれも90%を超えているため

当第1四半期、前年同四半期および前連結会計年度については、記載を省略しております。

3. 海外売上高

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、当第1四半期、前年同四半期および前連結会計年度については、開示を行っておりません。